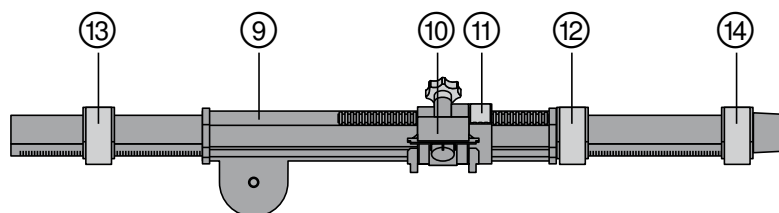
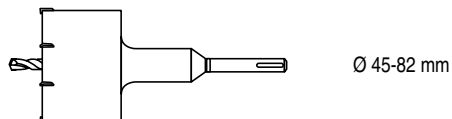
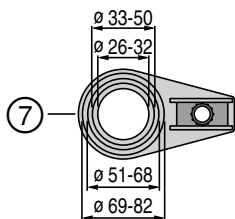
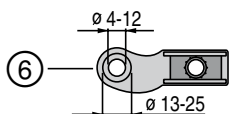
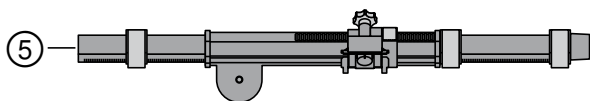
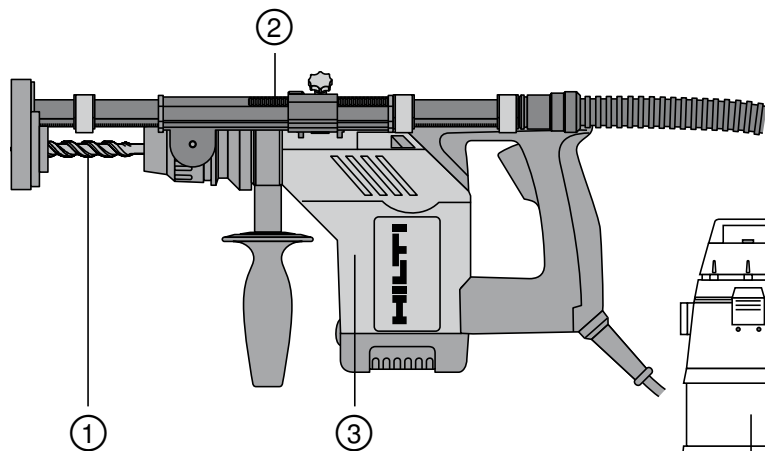
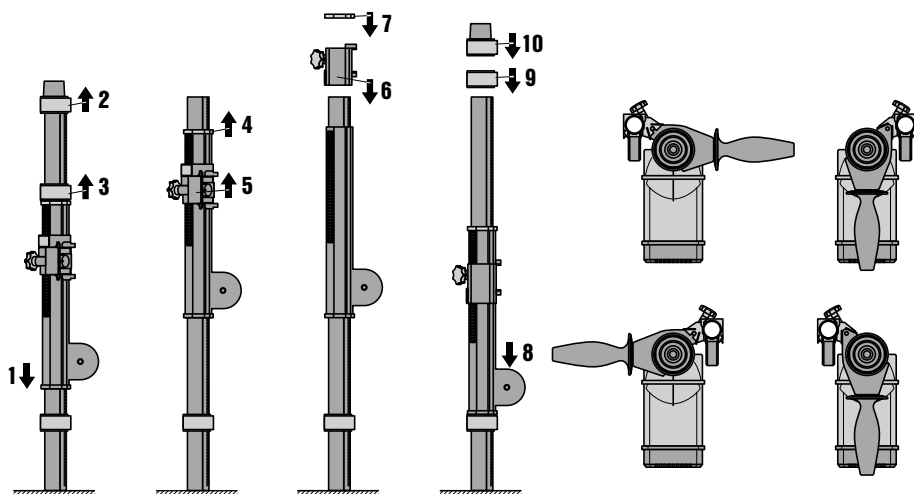


Bedienungsanleitung	de
Operating instructions	en
Mode d'emploi	fr
Istruzioni d'uso	it
Manual de instrucciones	es
Manual de instruções	pt
Gebruiksaanwijzing	nl
Brugsanvisning	da
Bruksanvisning	sv
Bruksanvisning	no
Käyttöohje	fi
Οδηγίες χρήσεως	el
Használati utasítás	hu
Instrukcja obsługi	pl
Инструкция по эксплуатации	ru
Návod k obsluze	cs
Návod na obsluhu	sk
Upute za uporabu	hr
Navodila za uporabo	sl
Ръководство за обслужване	bg
取扱説明書	ja
사용설명서	ko
操作說明書	zh

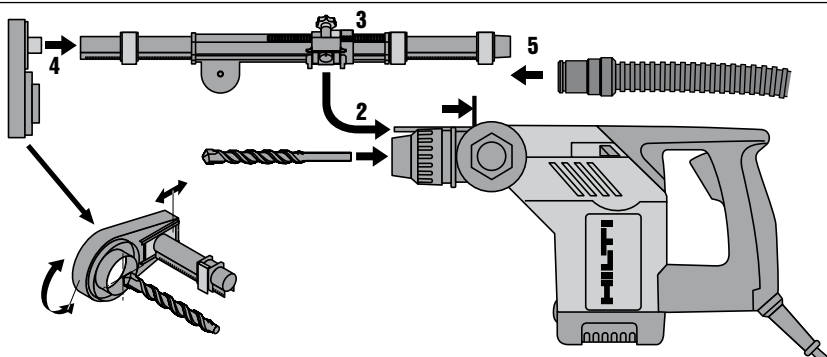
1



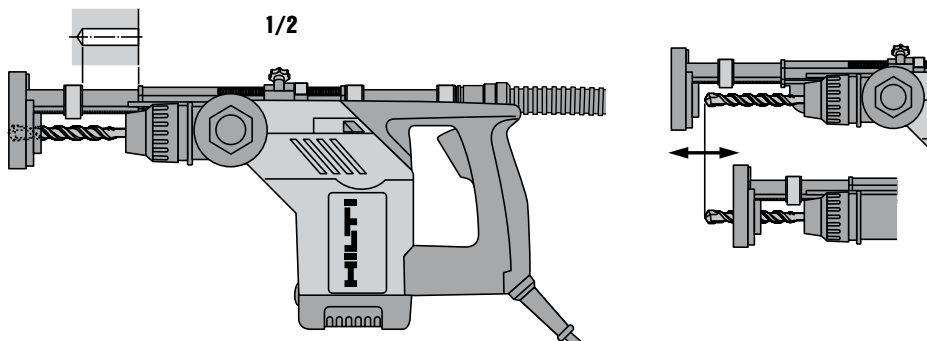
2



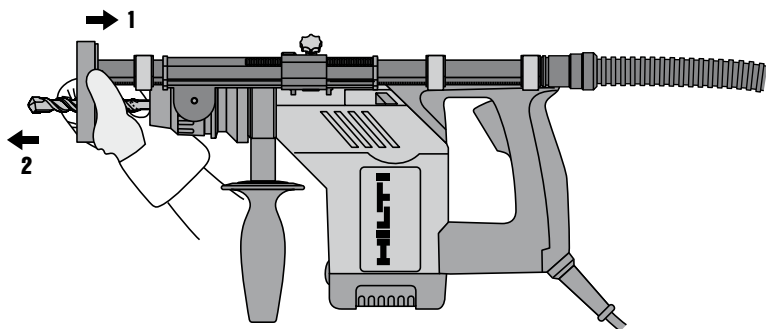
3



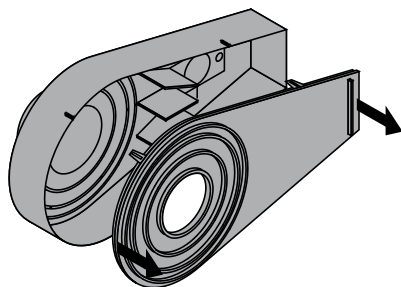
4



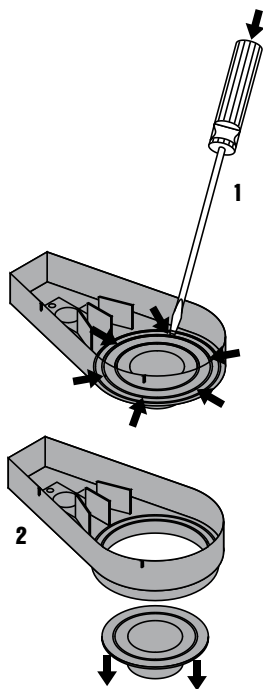
5

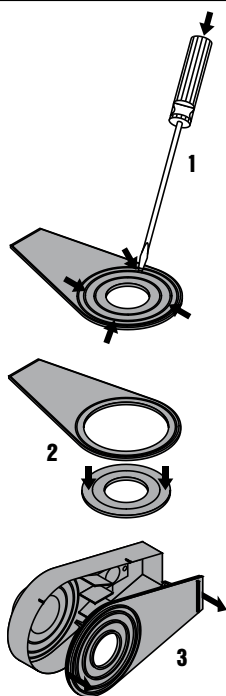


6



7





TE DRS-S 集じんモジュール

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

この取扱説明書は必ず工具と一緒に保管してください。

他の人が使用する場合には、本体と取扱説明書を一緒にお渡しください。

目次	頁
1 一般的な注意	112
2 製品の説明	113
3 スペアパーツ	113
4 製品仕様	113
5 安全上の注意	114
6 ご使用前に	115
7 ご使用方法	115
8 手入れと保守	116
9 廃棄	116
10 本体に関するメーカー保証	117

❶ この数字は該当図を示しています。図は二つ折りの表紙の中にあります。取扱説明書をお読みの際は、これらのページを開いてください。

装置 ❶

- ❶ 先端工具
- ❷ TE DRS-S 集じん装置
- ❸ 本体
- ❹ 産業用集じん機
- ❺ TE DRS-S テレスコープ
- ❻ サクションヘッド (小)
- ❼ サクションヘッド (大)
- ❽ ホース
- ❾ ベースボディ
- ❿ホルダー
- ⓫ホルダーロックレバー
- ⓬レンジスゲージロックレバー
- ⓭デブスゲージロックレバー
- ⓮ホースコネクターロックレバー

1 一般的な注意

1.1 安全に関する表示とその意味

危険
この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる危険性がある場合に注意を促すために使われます。

警告事項
この表記は、重傷あるいは死亡事故につながる可能性がある場合に注意を促すために使われます。

注意
この表記は、軽傷あるいは所持物の損傷が発生する可能性がある場合に使われます。

注意事項
この表記は、本製品を効率良く取り扱うための注意事項や役に立つ情報を示す場合に使われます。

1.2 記号の説明と注意事項

警告表示



一般警告事項

義務表示



保護メガネ
を着用して
ください



保護ヘル
メットを着
用してくだ
さい



耳栓を着
用してくだ
さい



保護手袋
を着用して
ください



安全靴を着
用してくだ
さい



粉じんの多
い作業にお
いて
は、防じん
マスクを着
用してくだ
さい

略号



ご使用前
に取扱説明
書をお読み
ください



リサイク
ル規制部品
です

W

電力

Ø

直径

2 製品の説明

2.1 正しい使用

TE DRS-S は、デブスゲージ（最大径 8 mm）を取り付けたロータリーハンマードリルおよびコンビハンマードリルによる乾燥した無機物母材の穿孔の際に、ヒルティ吸じん装置 / 集じん機と組み合わせて使用する吸じんシステムです。
作業区域：建設現場、工場での改修・改築・新築工事など。
集じんモジュールはあらゆる方向で使用することができます。

TE DRS-S は、乾燥環境における乾燥した母材への穿孔作業にのみ使用してください。TE DRS-S は、金属母材の穿孔作業には使用しないでください。TE DRS-S は、爆発の危険のある場所では使用しないでください。TE DRS-S は、研削作業で発生する埃には使用しないでください。
TE DRS-S は穿孔作業にのみ使用してください。ハツリモードでは TE DRS-S が損傷する危険があります。
モジュールの加工や改造は許されません。
この取扱説明書および電動工具の取扱説明書に記述されている使用、手入れ、保守に関する事項に留意してご使用ください。

3 スペアパーツ

スペアパーツ 1

11-14	ストッパー（2 個、1 個はレングスゲージ、1 個はデブスゲージ） / クランプリング / ホース	340603
⑧	ホース	340604
⑥	サクショヘッド（小）、直径 4 ... 25 mm	340605
⑦	サクショヘッド（大）、直径 26 ... 82 mm	340606

4 製品仕様

技術データは予告なく変更されることがあります。

技術情報

有効長	Max. 140 mm
重量	0.5 kg
ドリルビット長さ	Max. 400 mm
産業用集じん機の定格性能	Min. 800 W

産業用集じん機接続ピース	円筒接続、直径 33.75 mm
サクシオンホース長さ	3... 5 m
サクシオンホース直径	36 mm
特長	右利き / 左利きのどちらの作業者にも対応

5 安全上の注意

注意！ 注意事項のすべてをよくお読みください。ご使用のヒルティ電動工具の取扱説明書に記載されている安全上の注意も遵守してください。注意事項に従わない場合、重大な負傷をまねく恐れがあります。安全ガイドを大切に保管してください。

5.1 作業者に関する安全



- 本体の使用時には、作業者および現場で直近に居合わせる人々は保護メガネ、保護手袋、保護ヘルメット、耳栓、簡易防じんマスクおよび安全靴を着用しなければなりません。
- 作業場の採光に十分配慮してください。
- 作業保護具および保護メガネを常に着用してください。けがに備え、電動工具使用状況に応じた防じんマスク、耐滑性の安全靴、ヘルメット、耳栓などの作業保護具を使用してください。
- 吸じんシステムの接続が可能な場合には、これらのシステムが適切に接続、使用されていることを確認してください。吸じんシステムを利用することにより、粉じん公害を防げます。
- 健康を損なう恐れのある母材（アスベストなど）への加工は許されません。
- 作業開始前に、作業場で発生する粉じんの危険有害度を調査してください。公的に承認された保護等級および地域の粉じんに関する規定を満たした工業用集じん機を使用してください。

- 作業場の換気に十分配慮してください。作業場の換気が十分でない、粉じんによる汚染で健康が害される恐れがあります。
- 粉じんは健康を損なう恐れがあり、呼吸器疾患、皮膚病、アレルギー反応を引き起こすことがあります。
- 特定の粉じんは発がん性物質と見なされています。これに相当するのは、鉱物粉じん、カシヤブナ材の木材粉じん（特に木材加工用の添加剤としてクロム酸塩、木材保護剤が使用されている場合）です。
- アタッチメントの取替えの際は、スプリング力により部品が外れてしまう可能性があります。アタッチメント取替えに関する注意事項を確認してください。
- 電動工具を使用の際には、油断せずに十分注意し、常識をもった作業をおこなってください。疲れている場合、薬物、医薬品服用およびアルコール飲用による影響下にある場合には電動工具を使用しないでください。電動工具使用中の一瞬の不注意が重傷の原因となることがあります。
- 作業に適した作業着を着用してください。だぶだぶの衣服や装身具を着用しないでください。髪、衣服、手袋を本体の可動部に近づけないでください。だぶだぶの衣服、装身具、長い髪が可動部に巻き込まれる恐れがあります。
- 本体の設定やアクセサリの交換を行う前や本体を保管する前には電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーを取り外してください。この安全処置により、本体の不意の始動を防止することができます。
- 本体に負荷をかけ過ぎないでください。吸じんシステムは規定の出力範囲で十分に効率的で安全な作業が可能です。
- 集じん装置は安全および作業に関する注意事項に留意して、規定の作業にのみ使用してください。
- 使用できるのは規定の先端工具とアクセサリのみです。
- 静電放電の発生する可能性があります。必要に応じて静電防止サクシオンホースと保護手袋を使用してください。

6 ご使用前に



6.1 ご使用前に

1. 可能であれば、ロータリーハンマードリルを吸じん装置 / 集じん機に内蔵されている本体コンセントに接続してください。これにより、産業用集じん機をロータリーハンマードリルによりオン / オフすることができま

2. 吸じんシステムの効率を高いレベルに維持するために、それぞれのドリルビットあるいはソケットカッターに応じて常に最適なサイズのサクシオンヘッドを使用してください。
3. 残っている母材を吸引するため、集じん機は本体よりも数秒長く作動させた後、電源をオフにします。吸じん装置 / 集じん機にアフターラン遅延機能がある場合は、この必要はありません。

7 ご使用方法



注意事項

カチッという音がはっきりと聞こえたなら、ロックレバーは正しくロックされています。

注意

取付け、分解、調整作業および不具合の除去の際には保護手袋を着用してください。

7.1 種々の使用方法に応じてのアタッチメントの取替え

アタッチメントの取替えによりコーナー部へのアクセスが良好になり、また左利きの作業員も使用できるようになります。

1. ベースボディを下方へスライドさせてしっかりと保持します。
2. ホースコネクタのロックレバーを開き、ホースコネクタを抜き取ります。
3. レングスゲージのロックレバーを開き、レングスゲージを抜き取ります。
注意事項ホルダーからゆっくりと手を放すことができます。
4. クランプクリップを抜き取ります。
5. ホルダーのロックレバーを開き、ホルダーを取り外します。
6. ホルダーを 180° 回転させて再度ベースボディに取り付け、ホルダーのロックレバーを閉めます。
7. クランプクリップを再度ベースボディに差し込みます。
8. ベースボディを元の位置へ戻し、しっかりとその位置に保持します。
9. レングスゲージを再度差し込み、ロックします。ベースボディからゆっくりと手を放します。
10. ホースコネクタを再度差し込み、ロックします。

7.2 本体のデブスゲージへのテレスコープの固定 3

1. 本体のデブスゲージがチャックより前方へ突出しないように調整します。
注意事項あらかじめドリルビットを取り付けておくことで作業が容易になります。
2. TE DRS-S をデブスゲージに差し込み、ホルダーを本体のサイドハンドルまでスライドさせます。長いドリルビットの場合には、テレスコープを前方からデブスゲージへスライドさせます。短いドリルビットの場合には、テレスコープを後方からデブスゲージへスライドさせます。
3. ホルダーのねじを締め付けます。
注意事項TE DRS-S がサイドハンドルに正しく接触していてねじれることのないのを確認してください。
4. サクシオンヘッドを取り付けます。
注意事項穿孔先端が中央位置になるようにサクシオンヘッドを回してスライドさせます。
5. ホースをホースコネクタに差し込みます。
注意事項長い作業長が必要な場合には、テレスコープをデブスゲージの任意の位置に固定することができます。ただしこれは、例外的な場合に限りま

7.3 サクシオンヘッドをドリルビット先端と同じ高さに調整する 4

7.3.1 長いドリルビットの場合

1. ホルダーのロックレバーを開き、サクシオンヘッドがドリルビット先端と同じ高さになるまでパイプを前 / 後にスライドさせます。
2. ホルダーのロックレバーを閉めます。

7.3.2 短いドリルビットの場合

レングスゲージとホルダーにより、穿孔先端位置に達することができます。

ja

1. ホルダーのロックレバーを開き、サクシオンヘッドがドリルビット先端と同じ高さになるまでパイプを前/後にスライドさせます。
2. ホルダーのロックレバーを閉めます。

7.4 穿孔深さの調整 (デプスゲージ / レングスゲージ)

1. デプスゲージ / レングスゲージのロックレバーを開きます。
2. デプスゲージ / レングスゲージをご希望の穿孔深さにセットします。
3. デプスゲージ / レングスゲージのロックレバーを閉めます。

7.5 ドリルビットのセンタリング 5

1. ベースボディを引き戻してドリルビット先端が見えるようにします。
2. ドリルビット先端を押さえてテレスコープをゆっくりと緩めます。

7.6 先端工具とアクセサリー

サクシオンヘッド (小) は 4 ... 12 mm のコアビット径に適しています。13 ... 25 mm のコアビット径の場合には、サクシオンヘッドシェルおよびカバーの内側リングを取り外してください。大きいドリルビットおよび 26 ... 82 mm のコアビット径の場合には、サクシオンヘッド (大) を使用してください。個々の直径ステップは次の通りです: ϕ 26 ... 32 mm、 ϕ 33 ... 50 mm、 ϕ 55 ... 68 mm および ϕ 69 ... 82 mm。

7.6.1 直径リング 6

種々の直径リングを抜き取るために、サイズ 3 のマイナススクリュードライバーを使用します。サクシオンヘッドのカバーを取り外し、以下の章の説明に従って両方の部品をそれぞれ希望の直径に加工します。

注意

取付け、分解、調整作業および不具合の除去の際には保護手袋を着用してください。

7.6.2 サクシオンヘッドシェル 7

1. サクシオンヘッドシェルをしっかりと土台の上に置きます。スクリュードライバーを使用してサクシオンヘッドシェル内側の個々のリブを打ち抜きます。
2. リングを完全にサクシオンヘッドシェルから抜き取ります。

7.6.3 サクシオンヘッドカバー 8

1. サクシオンヘッドカバーをしっかりと土台の上に置きます。スクリュードライバーを希望の直径の溝に差し込み、溝を約 4 箇所打ち抜きます。
2. リングを完全にカバーから抜き取ります。
3. カバーをサクシオンヘッドシェルに取り付けます。注意事項 吸引能力を最適なものとするために、開口部の直径は可能な限り小さくしてください。石材がサクシオンヘッドに詰まってしまった場合には、石材を取り除くためにサクシオンヘッドを取り外すことができます。

8 手入れと保守

注意

電源プラグをコンセントから抜いてください。充電式機器の場合は、バッテリーパックを取り外してください。

8.1 モジュールの手入れ

注意

オイル、グリスあるいは洗浄剤は使用しないでください。

固着した汚れを取り除き、サクシオンベースの集じん吸入口に何もなかったかどうか点検します。モジュールを定期的に冷水で清掃します。アダプターの内側に付いたグリスや集じん残留物を定期的に清掃します。

8.2 保守

モジュールの全ての表面パーツに損傷がないか、また全ての装置が支障なく作動するか確認してください。パーツが損傷していたり、装置が正しく作動しない場合は、モジュールを使用しないでください。修理が必要な際は、弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にご連絡ください。

9 廃棄



本体の大部分の部品はリサイクル可能です。リサイクル前にそれぞれの部品は分別して回収されなければなりません。多くの国でヒルティは、古い電動工具をリサイクルのために回収しています。詳細については弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店にお尋ねください。回収した穿孔粉じんは各国の法規に従って廃棄してください。

10 本体に関するメーカー保証

ヒルティは提供した本体に材質的または、製造上欠陥がないことを保証します。この保証はヒルティ取扱説明書に従って本体の操作、取り扱いおよび清掃、保守が正しく行われていること、ならびに技術系統が維持されていることを条件とします。このことは、ヒルティ純正の、消耗品、付属品、修理部品のみを本体に使用することができることを意味します。

この保証で提供されるのは、本体のライフタイム期間内における欠陥部品の無償の修理サービスまたは部品交換に限られます。通常の摩耗の結果として必要となる修理、部品交換はこの保証の対象となりません。

上記以外の請求は、拘束力のある国内規則がかかる請求の排除を禁じている場合を除き一切排除されます。とりわけ、ヒルティは、本体の使用目的の如何に関わらず、使用した若しくは使用できなかったことに関して、またはそのことを理由として生じた直接的、間接的、付随的、結果的な損害、損失または費用について責任を負いません。市場適合性および目的への適合性についての保証は明確に排除されます。

修理または交換の際は、欠陥が判明した本体または関連部品を直ちに弊社営業担当またはヒルティ代理店・販売店宛てにお送りください。

以上が、保証に関するヒルティの全責任であり、保証に関するその他の説明、または口頭若しくは文書による取り決めは何ら効力を有しません。



Hilti Corporation

LI-9494 Schaan

Tel.: +423/234 21 11

Fax: +423/234 29 65

www.hilti.com

Hilti = registered trademark of Hilti Corp., Schaan

W 2558 | 0113 | 00-Pos. 1 | 1

Printed in Liechtenstein © 2013

Right of technical and programme changes reserved S. E. & O.

340607 / A2

